

因島地域における病院の再編統合について

1 要旨

8月6日に開催された尾三圏域地域医療構想調整会議において、因島医師会病院と因島総合病院（日立造船健康保険組合）から再編統合に関する対応方針案が示され、合意が得られたため、令和8年4月1日の統合に向けて両病院で準備を進めていく。

2 現状・背景

尾三医療圏においては、全国又は県内と比較しても早いスピードで人口減少や高齢化が進んでいる。両病院においては、医師確保に困難さを抱える中、同様の医療機能を担うなど医療資源が分散している状況にあり、救急医療等の体制維持が課題となっている。また、因島総合病院の建物の老朽化への対応も大きな課題となっている。

地域医療を安定的に確保するため、今後の医療需要を踏まえて、医療提供体制を見直す必要がある。

3 概要

(1) 再編の内容

病院名	因島医師会病院	因島総合病院	(再編統合後) 因島医師会病院
開設者	因島医師会	日立造船健康保険組合	因島医師会
病床 (病床機能)	197床(急性期42、回復期103、慢性期52)	115床(急性期42、回復期41、慢性期32)	197床(急性期42、回復期103、慢性期52)
常勤医師数	8名	4名	最大12名
診療科	内科、消化器内科、循環器内科、呼吸器内科、糖尿病内科、外科、整形外科、リハビリテーション科、放射線科、心療内科、皮膚科、眼科、耳鼻咽喉科、泌尿器科	内科、リウマチ科、消化器内科、腎臓内科、糖尿病内科、整形外科、リハビリテーション科、小児科、泌尿器科、歯科口腔外科、脳神経外科、精神科、皮膚科、婦人科、放射線科	内科、腎臓内科、消化器内科、糖尿病内科、循環器内科、呼吸器内科、リウマチ科、外科、整形外科、小児科、リハビリテーション科、放射線科、心療内科、皮膚科、眼科、耳鼻咽喉科、泌尿器科、歯科口腔外科 (脳神経外科、精神科、婦人科は承継しない)
課題	・医師不足	・医師不足 ・建物の老朽化(築63年)、耐震強度不足	統合による機能強化 ・島内での人工透析診療の継続 ・救急等の医療提供体制の維持・強化 ・在宅医療・介護の更なる強化

(2) 広島県による支援

【統合に係る支援】

- ・医療機能の分化・連携に係る協議の場の設定
- ・地域医療の現状分析や様々な医療再編パターンの提示・助言等

【今後の支援】

- ・国への重点支援区域の申請
(選定された場合、国による技術的支援及び財政的支援を受けることが可能となる。)
- ・施設や医療機器等の整備に係る費用の補助(地域医療介護総合確保基金)

(3) スケジュール

令和6年8月6日	尾三圏域地域医療構想調整会議
8月29日	広島県医療審議会保健医療計画部会(県単位の地域医療構想調整会議)
令和8年2月	透析・外来病棟の完成(予定)
令和8年4月1日	統合